

老健とは

老人保健施設ケアセンター弘前は、皆様のお陰で今年創立31年を迎えます。今回は地域の皆様から多く寄せられる「老健って何?老人ホームと何が違うの?」という声について、お話をしたいと思います。

介護老人保健施設(老健)とは、介護を必要とする高齢者の自立を支援し、住み慣れた地域で生活する為に、医師による管理の元、医療・看護・介護といったケアを始め、リハビリ訓練、栄養管理などのサービスを行う介護保険の施設です。

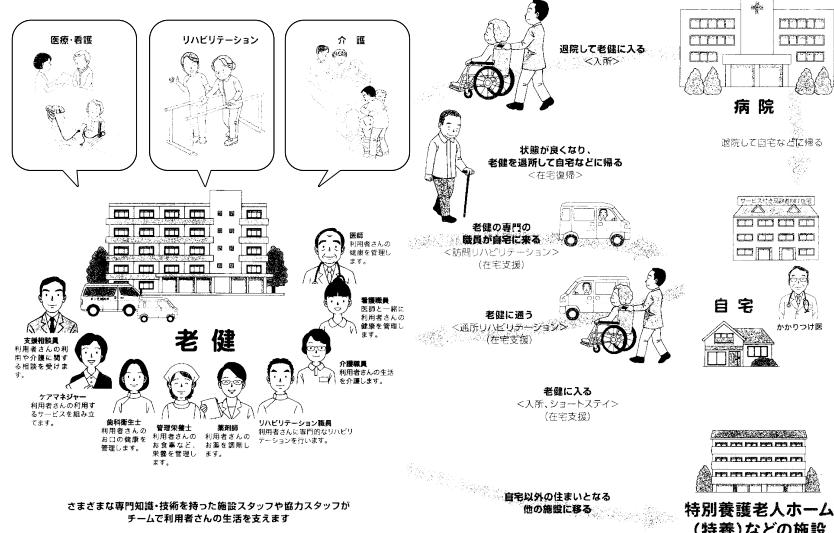
中でも、退院してすぐ家に戻るのが不安な方、集中してリハビリを行いたい方など、専門スタッフによるマンツーマン訓練が受けられることが、老健の特徴のひとつです。

ご利用者様一人一人の状態や目標に合わせたケアプランに沿って、様々な専門知識、技術を持った施設スタッフがチームで利用者の生活を支えます。ご利用者様の「今できること」を少しでも増やすことで、より良い暮らしになることを目指し、私たちスタッフは業務に当たっています。

施設入所を利用頂ける方は、65歳以上の要介護認定(要介護1~5)を受けた方で、病状が安定していて、入院治療が必要なく、リハビリを必要とされている方を基本としております。

ご利用をお考えの方はどうぞ下記担当までご連絡下さい。ご質問もお待ちしております。

☎87-0111 担当 相談員 工藤・菅原まで



引用元：公益社団法人全国老人保健施設協会

メモリアルタイムス

第81号

老人保健施設
ケアセンター弘前

発刊元

青森県認証
介護サービス事業者

弘前市山崎一丁目二〇番一七

広報委員会
編集後記

～介護助手モデル・介護助手定着促進事業～

青森県で近年行っている「介護助手モデル事業」をご存知でしょうか?

これは、地域の元気な中高年を開拓し、家事的な業務の担い手「介護助手」として働けるようにする取り組みです。

当施設も昨年度この取り組みに参加し、4名が採用。内1名は臨時職員として勤務し、現在、下記の3名が週4~5回、1日3時間居室・浴室の掃除、シーツ交換、配膳等の業務を行っております。

介護助手の協力により、職員は入所者様と会話する時間が増え、専門的な業務に専念する事が出来るようになりました。また、入所者様は話し相手になってくれる方が増え、「嬉しい」という声も聞かれております。

最後に、青森県において介護人材の確保・育成・定着は課題となっており、当施設も是非地域の皆様の力を借りたいと思っていますので、介護助手に興味を持たれた方がいらっしゃいましたら、ご連絡お待ちしています。 ☎87-0111



畠中 秀子

介護助手の仕事に就いて9ヶ月目に入りました。環境にも仕事にも慣れて、お風呂の清掃の仕事が増え、次に使用する人の為、清潔に仕事をしたいと思います。



小野 霧子

精一杯頑張りますので、宜しくお願いします。



対馬 良子

以前、私は母親をグループホームにお願いして働いていました。今考えてみると親にしてあげる事が半減して何もやってあげる事が出来なかつたかなと思います。現在、短時間の関わりですが、入所者様・職員の皆様とコミュニケーションを取り、少しでもお力になれたらと努力して頑張っていきたいと思います。



介助員
田澤 一志

4月から介護助手として働き、7月から臨時職員となりました。初めは、ボランティアのつもりでお手伝い出来ればと思っていましたが、年をとっても必要とされる事は幸せなことです。色々なお手伝いをさせて顶きます。

新人職員紹介

食欲の秋になりましたね。旬の美味しい物を食べ、感染症に負けないように栄養をつけ、過ごしたいものです。次は年末に発行予定です。お楽しみに!!
最後までお読み頂きありがとうございました。

ホームページでもご利用者様の日々の様子などをご覧いただけます。
<http://tsugarufujimikai.com>



納涼祭



7月22日水曜日、午後2時から納涼祭を行いました。

今年は新型コロナウイルス感染防止の為、1階・2階・通所リハビリの3か所に分かれて、ご利用者様、職員のみで開催させて頂きました。

ケアセンター弘前は、創立31年ということでこれまでの「30年のあゆみ」をまとめたスライドショーやネプタ祭り、事前に録画した新人余興の映像を各食堂のテレビで放映しました。今年の新人職員の余興は「二人羽織」で、手探りでチョコバナナを食べたり、お茶を飲んだり、化粧をしたり、とても楽しめました。

また、昔の懐かしい「千本引き」「大王」のくじ引きを行い、盛り上がっていました。

来年は、例年通りご家族の皆様も参加頂いてみんなで楽しい納涼祭を迎えることを願っています。

～新人余興「二人羽織」～



私、どんどん美しくなっていくわ



豆しばり似合うお二人!!



何のお菓子を
引き当てたかな?!



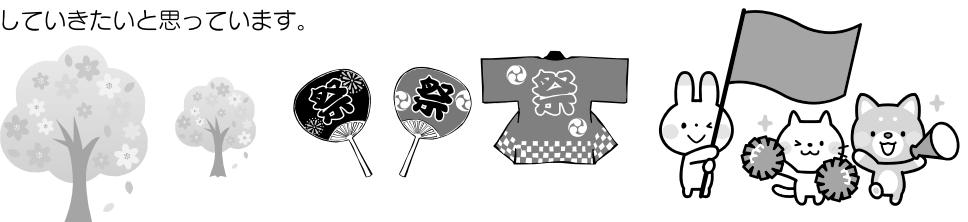
委員会活動の紹介

当施設では多数の委員会を設け、より良い施設づくりを目指して活動しています。今回は“行事実行委員会”と“はなばたけ委員会”的2つの活動を紹介します。

～行事実行委員会～

入所・通所ご利用者様が少しでも楽しんで頂け、日々の生活に彩りが持てるよういろいろな行事の企画を考え、実施しています。年間行事として、誕生会・買い物訓練・花見・納涼祭・敬老式典・ゲーム大会・運動会などがあります。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大予防に努めており、当施設では例年通りの行事が行えていません。終息した際には、入所・通所ご利用者様に喜んで頂ける行事を盛り沢山実施していきたいと思っています。



～はなばたけ委員会～

施設敷地内を利用して、畑で野菜栽培（今年は、なす、きゅうり、ピーマン、ミニトマト、ネギ）・収穫・活用、正面玄関の花壇の手入れ、環境整備をしています。

野菜も花壇も、皆さんと共に楽しめる「ふれあいの場」として設けておりますので、近くで皆様に眺めて頂いたり、アドバイス頂いたり、収穫期には、一緒に収穫を楽しめることができれば、嬉しく思います。



収穫した野菜は利用者様、ご家族様、スタッフに提供しています。※ケアセンター玄関内に設置しています。

ハックルベリー
初の果樹に挑戦。ビタミンAがブルーベリーの4倍以上含まれるといわれている果樹で、夏に沢山の実を付ける植物。9月頃に収穫し、ジャムにする予定です。

マリーゴールド
昨年の種を植え芽吹みごとな黄色やオレンジ色の花を咲かせることができました。